

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	大学の力を結集した、地域の脱炭素化加速のための基盤研究開発			担当部局庁	研究開発局		作成責任者
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	令和7年度	担当課室	環境エネルギー課		環境エネルギー課長 轟 涉
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	統合イノベーション戦略2022(令和4年閣議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	9-2 環境・エネルギーに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_9-2.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	大学等が地域のカーボンニュートラル実現に向けた取組を支援するために必要な基盤的な知見創出のための研究開発を推進するとともに、大学等間の連携による地域のカーボンニュートラルへの取組を加速し、我が国のカーボンニュートラルの実現に貢献する。						
現状・課題 (5行程度以内)	2050年までのカーボンニュートラル実現に向けて、各自治体では、地域特性に応じて、それぞれの経済・社会的課題や資源等を総合的に考慮した上で、目標や計画を定める必要があり、これらを可能とする科学的な知見へのニーズが高まっている。大学等は、人文・社会科学から自然科学までの幅広い知見を有する「知の拠点」として、各地域と協働してカーボンニュートラルに向けて中心的な役割を担うことが期待されている。□						
事業概要 (5行程度以内)	人文・社会科学から自然科学までの幅広い知見を活用し、大学等が地域のカーボンニュートラルへの取組を支援するために活用できる汎用的な知の創出に向けた研究の推進と、研究成果等の共有のための体制の構築を行う。						
事業概要URL	https://uccn2050.jp/						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	76	76	73	73
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	76	76	73	73	
	執行額(G)			75	-		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	99%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	99%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究開発推進費			-		
	(目)	科学技術試験研究委託費	73	73			
	(目)	庁費	0	0			
	(目)	委員等旅費口	0	0			
	(目)	非常勤職員手当口	0	0			
	(目)	職員旅費口	0	0			
		その他	▲ 0	▲ 0			
	計(A)		73	73			

活動内容① (アクティビティ)		カーボンニュートラルに向けた地域変革を促すための大学等における人文・社会科学から自然科学までの分野横断的な研究開発を推進するとともに、その成果を他の大学や企業、自治体に展開するために、大学等間ネットワークを通じて産学官連携を促進し、カーボンニュートラルに向けた取組を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		カーボンニュートラルに係る主要な政策分野における汎用的なモデルを構築する研究を推進する。	研究に参画している大学数	活動実績	件	－	9	9	－	－	
				当初見込み	件	－	9	9	9	9	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本事業において、各ワーキンググループ(全体統合研究、地域自律エネルギー、次世代交通、脱炭素建築ストック、脱炭素シナリオ、持続地域連携)からの研究成果の創出状況を示す指標として論文数を設定。									
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		本事業において各年度 本の論文発表を目指し、最終的には令和7年度までに累積で 本以上を発表する。 ※R4年度の実績値から再度目標値の検討を行う予定	論文累計件数(査読中の論文は対象外とする)	成果実績	件	－	9	35	－		
				目標値	件	－	6	12	41		
				達成度	%	－	150	291.7	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	成果目標及び成果実績①-1における研究成果がどれだけ自治体・民間に活用されるかを評価するために設定。									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度		
		本事業において令和7年度までに連携する自治体・企業・団体を長期的に増加させることを目指す。	本事業で連携する自治体・企業・団体数	成果実績	件	－	12	15	－		
				目標値	件	－	5	10	30		
				達成度	%	－	240	150	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									
		－									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



